

# PUBLIC WAY 2011-12

～社会正義への道～



株式会社パブリック <http://www.public-g.com>  
香川県観音寺市大野原町福田原241番地1 TEL:0875-57-1300 FAX:0875-57-1201



1,500部作成のための総排出量 892.826kg-CO<sub>2</sub> 1部あたり596g-CO<sub>2</sub>  
この印刷物から発生するCO<sub>2</sub>はカーボンオフセット・プロジェクト([www.co2.jp](http://www.co2.jp))を通じてオフセットされています。



株式会社パブリック

# 私達の「Public Way」。

地球環境を守り、循環型社会を支える  
リサイクル業者の先駆者として、  
「パブリック」という名前にふさわしい  
自分たちでありたい。

## Contents

対象範囲／編集方針	01
環境方針	02
[特集①] CSR対談企画 佐藤泉先生	
Ⅰ 環境マネジメント	05~10
会社概要・沿革／経営理念	05
株式会社パブリックの事業活動	06
パブリック事業拠点 MAP	09
マテリアルバランス	10
[特集②] これがパブリック本部事業所だ！	
Ⅱ 環境負荷の低減	13~14
廃棄物処理業務におけるCO <sub>2</sub> 削減	13
パブリックグループの諸活動／オフィスでの環境活動	14
Ⅲ 社会との関わり	15~20
お客様とのコミュニケーション	15
地域とのコミュニケーション	17
食品リサイクルの取組	19
チャンスコール（クレーム）とその対応／CSR対談後記	
編集後記／本報告書の作成について	21
	22

## 環境方針

当グループは、使命感「未来創造・ラブアースマインド—PUBLIC」の  
基本理念に基づき、当グループの事業活動を通じて環境を配慮した  
活動を展開し、環境保全に貢献します。

1. 廃棄物処理・リサイクル・各種サービス等の事業活動に関わる環境影響を把握し、廃棄物の適正処理とリサイクルを推進することにより、環境汚染の予防に努め、環境負荷の低減に取り組みます。
2. 事業活動の環境側面に関連する適用可能な法的要件事項、及び当グループが同意するその他の要求事項を順守します。
3. 環境方針を達成するため、当グループの環境目的及び環境目標を設定し、これを達成する各部門毎の実施計画を策定し、実行します。
4. 環境マネジメントシステムの定期的な見直しを行うことによって、継続的な改善を図ります。
5. この環境方針は、全従業員に周知徹底し、環境への意識向上を図ると共に、組織のために働くすべての人に周知し、環境方針の理解と協力を要請します。

この環境方針は広く一般に公開します。

2005年12月1日  
パブリック・グループ





多様化する廃棄物処理業界が抱える企業の社会的責任とは何か?  
今回は環境関連法の第一人者、弁護士の佐藤泉先生をお迎えしてざっくばらんな対談を行いました。

## CSRは一人一人の現場力

### パブリックとは 社会正義である

**佐藤泉先生**（以下佐藤） パブリック・グループは、創業53年を迎えたと伺っております。戦後の日本復興期からの社会変化のなかで、どのように成長されて来たのでしょうか。

**三野輝男**（以下三野） 昭和33年に私たちの叔父が進駐軍からバキュームの払い下げを受けたのがスタートですから、ちょうど53年になります。私は自動車会社に勤めていたのですが、父が病気で倒れたことから、この仕事を引き継ぎました。その後は清掃事業の他にも、有線音

楽放送、食品販売などの事業展開も行いました。しかし、現在は原点にもどって、環境の視点から地域社会に密着した静脈産業の仕事をするということに、集中しています。

パブリックという社名について、元日本弁護士連合会会長の中坊公平先生から、「いい名前だね。社会正義という意味だよ。」と誉めていただきました。あの言葉で私どもの会社の天命は社会正義を全うすること、その天職として静脈産業がある、と気付かされた思いです。

仕事の上では、様々な仕事を極める極人集団でありたいと考えています。私たちの使命感は「未来創造・ラブ

アースマインド・パブリック」。強く、人情味があつて、立派で、かつこいい、社会正義あふるる人間の集まりにしたいと思っています。

**東日本大震災を契機に**

**佐藤** 今年は、東北で大きな地震と、津波の被害がありました。災害廃棄物を、どうやって安全に処理するのか、未だに模索が続いている状態だと思います。

この震災の教訓をどのように受け止めていらっしゃいますか。

**三野** 毎年末、私は翌年度の心構えとなる断行指針を示しています。

2011年の断行指針は「守成創業」でした。「守る」ということが柱になると思っていたのですが、おりしも東北の大震災を目の当たりにして、改めて守ることの大切さと困難さを実感しています。

まず、お客様を守らなければならぬ。これは、単に要求された仕事をするということではなく、日頃からお客様と交流し、安心・信頼を築くことによって、初めてお客様を守ることができる。さらに、社員全員が、自分の体や心を守らなければなりません。その上で、会社の評価、使命、役割を守っていく。

どんな非常事態が起きても、このような守りがきちんとできていれば、これを乗り越えていけるはずだと思われます。

**佐藤** 地球や地域を守るということは、具体的には廃棄物を処理する事業活動において、顧客を守り、従業員を守り、そして会社を守るということから生まれてくるということですね。パブリックという名前を大切にしているつもりです。

### バイオマスの 可能性について

**佐藤** 循環型社会において静脈産業は、資源を循環させる技術の進歩、組織力の向上など、大きな転換期を迎えていると思います。特に、バイオマス資源の可能性について、どのようにお考えでしょうか。

**三野** 香川県は、日本で一番面積が小さい県ですが、温暖な気候、豊富な海産物そして農業や林業においても恵の多い、すばらしいところです。このバイオマス資源を有効に活用することは非常に重要であると考えています。

バイオマス資源は毎日確実に発生していますが、まだ十分に利用できていません。その理由は、取り扱いの困難さだけではなく、発生場所と利用場所の安定性、信頼関係などの関係を調整することが難しいからだと思います。私は、まず、顧客や地域の方々を大切にしながら、バイオマス資源の可能性を実現したいと思っています。

故が発生したり、顧客の期待を裏切ってしまいます。社員の一人一人が、自分が皆となって社会を守るのだ、という心構えで、現場で力を発揮することが重要です。廃棄物処理法が厳しい法律だということは、それだけ社会の目が厳しいということ、これに応える会社しか生き残れないということではないでしょうか。厳しい法律を守り、さらにその上を目指すことが大切だと思います。

### CSRは一人一人の現場力

**佐藤** 廃棄物処理法は、度重なる改正により、大変厳しい法律になっています。法律を守るためにには、社員教育にも力を入れていると思いますが、さらに、社員の方々にどのようなCSR活動を期待されていますか。

**三野** 法律は大切なルールですが、会社はもっと高いルールを持たなければならないと思います。それは、社員の一人一人が、社会を守っているという意識をもって現場で行動することだと思います。言われたことだけをやればよい、という考え方では、どうぞの対応ができないため、思わず

いたいと思います。本当にそのとおりですね。廃棄物処理法の改正は、今後もあると思います。さらに、国際的な物質循環の変化、アジア経済の進展、日本の産業構造の変化、そして地域経済の活性化への課題など、社会もどんどん変わっていくでしょう。このようななかで、パブリックが、香川という地域に密着した静脈産業において、現場力を高めるCSRを展開することは、すばらしいことだと思います。

今後の活躍に期待いたします。



弁護士 佐藤 泉 先生（佐藤泉法律事務所）

早稲田大学第一文学部卒業、第一東京弁護士会所属。  
環境関連法に関する訴訟・法理相談などを専門とする。

※三野社長のCSR対談後記は21ページに記載しています。

## 会社概要・沿革

会 社 名	株式会社パブリック
本 社	香川県観音寺市大野原町福田原241番地1
電 話	0875-57-1200
資 本 金	3,000万円
グ ループ 年商	32億円
従 業 員 数	250名
沿 革	昭和48年5月 一般廃棄物収集運搬業開始 昭和52年7月 産業廃棄物処理業開始 平成 7年1月 有限会社パブリック設立 平成14年8月 ISO14001認証取得 平成19年9月 株式会社パブリックへ商号変更

## 主な事業内容

一般廃棄物収集・運搬・処分  
産業廃棄物収集・運搬・処分  
特別管理産業廃棄物収集・運搬  
廃棄物再生利用  
特殊肥料生産

## 財務状況

財務諸表については「産業廃棄物処理業者の優良性の判断にかかる評価制度」に基づき、貸借対照表と損益計算書を産廃情報ネット<sup>※</sup>に公開しています。

<sup>※</sup><http://www.sanpainet.or.jp/index.cfm>

## 経営理念

### ● 信念

PUBLICとは社会正義なり。  
私達は社会正義[Public Way]を全うします。  
私達Public Manは人類として地球に生を受けたる事に感謝し、立派な日本人、社会人、企業人、家庭人一人の人間として、社会正義への道[Public Way]を目指す事を天命と自覚し邁進します。

### ● 我社の使命感(存在意義)

使命感「未来創造・ラブアースマインド-PUBLIC」未来とは社会正義溢るる将来、未来を作り出します。  
地球を大切に思い、愛し、地球の静脈を守り、管理し、地球の最高の管理責任者である人類としての役割を全うする、立派な会社として社員を育て練磨し、お客様及びすべての関係者に愛され、頼りにされる会社になる事を天職と信じ、パブリックな会社になる事に邁進します。私達は地球防衛軍!!

### ● 経営方針

私達は社会正義経営を約束します。  
私達は現在業務(地球静脈管理コストのマネジメント)を天職と信じます。社会性(天道)、人間性(人道)、経済性(営道)を保ちます。その道を極めた「極人軍団」を組織し、全員営業体制にてお客様を開拓し、そして守ります。最高の商品、サービスを低価格で提供すべくE.L.P(everyday low price)-E.L.C(everyday low cost)-E.H.M(everyday high management)を約束します。

### ● 行動指針

私達はPublic Manとして社会正義に基づきパブリックな行動をします。訓練、研修を怠らず、天を信じ、自己的能力を最大限に発揮し、周囲の人々を幸福にします。親孝行を忘れず、年長者を尊敬し、心と、体と、頭脳と、企業と、地球の健康に留意し、自己管理を徹底します。挨拶、返事、履物を揃える、元気なPublic Manになります。万事五分、人生五分を理解し、3C(チャンス、チョイス、チャレンジ)精神で断行します。

## 株式会社パブリックの事業活動

### リサイクルを通じて、循環型社会の形成に貢献します。

資源を有効利用するには生産-消費-廃棄という一連の工程が適正に行われることが必要です。弊社では、様々な産業から発生する多種多様な廃棄物に対応できるように、充実した処理ネットワークと多彩な収集運搬車両を備えています。より多くのお客様のご要望にお応えできるよう、単一・大量の廃棄物から、少量多品種で手間のかかる廃棄物の処理体制まで幅広いメニューを揃えているのが特徴です。

### 産業廃棄物処理

四国地区には国内有数の紙産業の一大拠点をはじめ、国内外をマーケットとした様々な産業が立地しています。ここから排出される廃棄物は様々な処理工程や技術を要し、かつ日々継続されるだけに、そのニーズにお応えするための様々な技術力と処理能力の充実が求められています。廃棄物による再生商品として固形燃料(RPF)や特殊肥料(堆肥)など、今後とも様々な廃棄物のリサイクルに努力してまいります。

### 一般廃棄物処理

スーパー、コンビニエンスストア、飲食店等から排出される事業系の食品廃棄物を選別・発酵乾燥処理し、リサイクルします。可燃ごみ、粗大ごみ、生ごみの、多種多様な廃棄物及び、現場環境での収集対応ができます。専用車両、専用容器、そして各地域のスタッフの能力を駆使してお客様のお役に立ちます。

### 建設・解体事業

高度経済成長期の建築物は現在と違い、環境に配慮した素材の少ない時代を背景にしており、多くの処理対象となる老朽物件の解体に伴う環境悪化や資源活用に不安感が広まっています。弊社はこうしたニーズを見越し、いち早く社内に専門チームを設置・研修も重ねてきました。解体に関わる廃棄物の徹底した分別リサイクルを推進することにより環境負担の低減に努めています。

### 計量証明事業

工場・浄化槽・最終処分場などの各種排水や環境に関わる水の分析を行っております。

### アスベスト処理

アスベスト(石綿)を使用した建築物の解体での安全性は、今や社会問題として大きく注視されています。弊社では業界に先駆けて、専門チーム体制を構築し、研修及びマニュアル化により業務に伴う保証制度を確立しております。

### ダイオキシン処理

排煙とともに排出されるダイオキシン。その発生源は焼却炉が大半とされています。老朽化による安易な解体はダイオキシンの拡散につながりますので、今は専門的な処理が義務づけられています。

### 浄化槽維持管理

イヤな臭いやトイレのつまり、水質の悪化など、浄化槽で発生するトラブルに対処、クリーンな生活環境を守ります。



## ホームページ

当社では、会社事業紹介をしております「ホームページ」をはじめ「建設・解体サイト」、「片付けサイト」とそれぞれお客様のニーズに合わせたサイトを3つ運営しております。各サイト、ブログなどもありますので、みなさんも一度お気軽にご覧になってみてください。その際にご意見等をお聞かせいただければ幸いです。



パブリックホームページ 解体サイト 片付けサイト

- パブリックホームページ  
<http://www.public-g.com/>
- 解体サイト  
<http://www.public-g-kaitai.com/>
- 片付けサイト  
<http://www.public-g-kataduke.com/>

## 望年会

年末の「忘年会」を当社ではあえて「望年会」と題して開催します。過ぎた一年を忘れるための会ではなく、新しい年を望んで迎えようという意味です。会には、年に一度、全事業所の社員が一同に集い、普段支えて頂いている家族の方達にも参加いただきゲームや社員表彰など盛大に行われます。



「望年会」での社員表彰

## 報奨金制度

当社では様々な報奨金制度があります。新しいお客様の情報を提供してくれた社員には「新店情報表彰」、社内の安全面や効率面などの改善を提案してくれた社員には「改善提案表彰」とそれ毎月表彰され、多いときには1ヶ月で20名近くの社員が表彰されることがあります。



家族の方も参加いただいた「望年会」

## 社員研修

各社員の職種、希望に添って様々な研修を行っております。ドライバーには「PSSMD(パブリック・スーパー・セールス・マネジメントドライバー)研修」と称し、ドライバーのマナーやサービスの質を上げ、営業活動も行えるドライバーを育成しております。女性研修では、礼儀・作法を学ぶ講義などを行いました。

**スタッフボイス!**

本部事業所 販売管理  
**井下 佳子さん**

持込受付・マニフェスト処理・配車受注の仕事をしています。受付ではお客様をお待たせしない様、スムーズな対応を心がけています。マニフェストは法律に関わる非常に大事なものなので、いろんな知識を身に付けてお客様に満足いただけるようにがんばります。

**スタッフボイス!**

松山事業所(現・徳島事業所)  
**永井 淳市さん**

愛媛県下第一円の大東建託入居者様へのレスキュー対応、及びルームクリーニング、維持管理工事のマネジメント業務を行っております。入居者様へ快適な居住空間の提供を目指し24時間365日対応しています。今後さらにサービス向上させ地域社会へ貢献できるよう頑張ります。

## 様々な車両で、多種多様な廃棄物に対応しております。



塵芥車 〈2t～3t〉29台 〈4t〉31台 〈大型〉2台



バキューム車 〈4t〉2台 〈大型〉2台



バン 12台



ウイング車 2台



ダンプ 2台



コンテナ車 〈2t〉4台 〈4t〉11台 〈大型〉7台



パワーゲート車 4台



ユニック車 2台



高圧洗浄車 1台



計量機つき塵芥車



デジタルパネル



操作パネル

**スタッフボイス!**

愛媛管轄 統括部長  
**古市 景一さん**

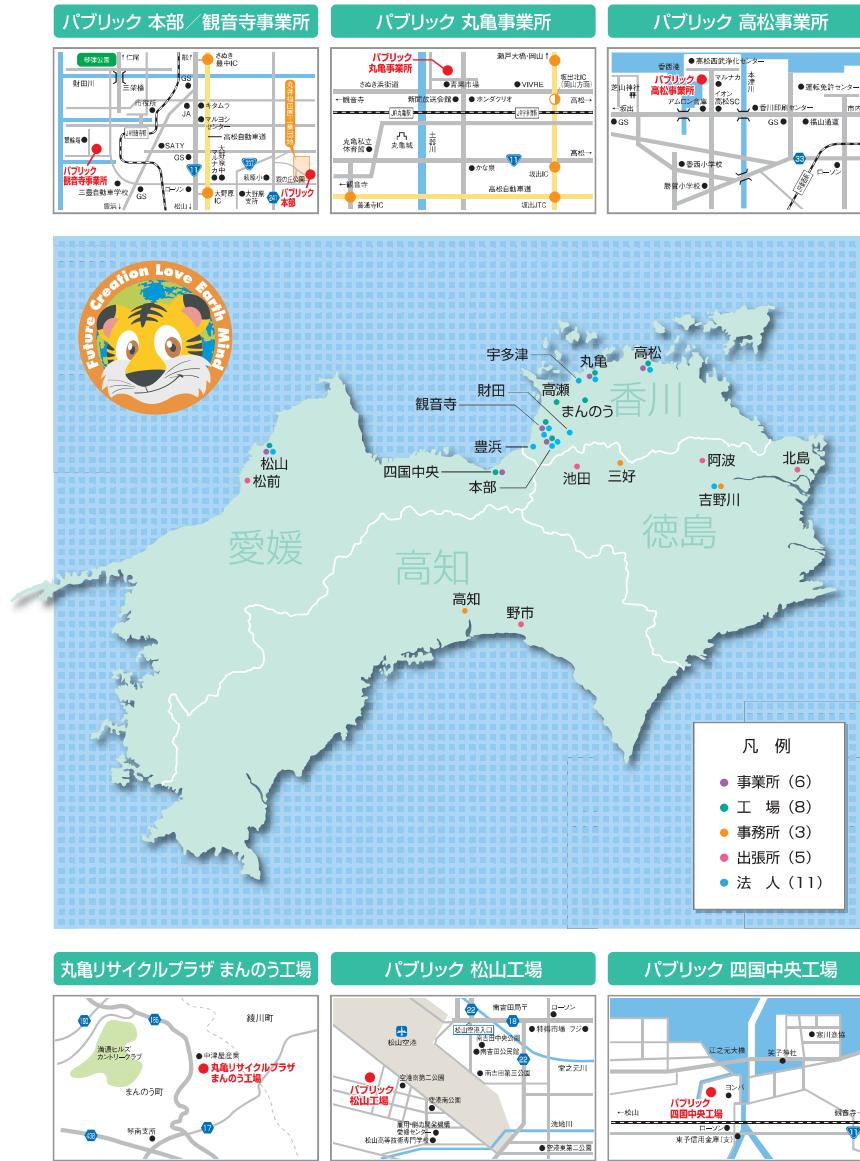
四国中央市・松山市を拠点に、愛媛県内の収集運搬・中間処理業務を行っています。松山エアリ大型店舗にて、廃棄物34品目リサイクル分別をはじめ、各工場・お客様へのご要望に応えるべく環境負荷低減を目的とし、今後、県内外の、廃棄物製品(円形燃料・堆肥等)を目指し、お客様の満足度向上と地域社会へ貢献出来る様に頑張ります。

**スタッフボイス!**

本部事業所 開発事業部  
**細井 麻衣さん**

明るく活気のある環境で毎日お仕させて頂いています!電話対応等お客様の窓口となることが多いありますので常にお客様に対する感謝の気持ちを忘れず、気持ちの良い対応を目指します。また廃棄物や法律等専門的な分野は奥が深いと思いますが、仕事を通じて少し学んでいきたいと思っています。

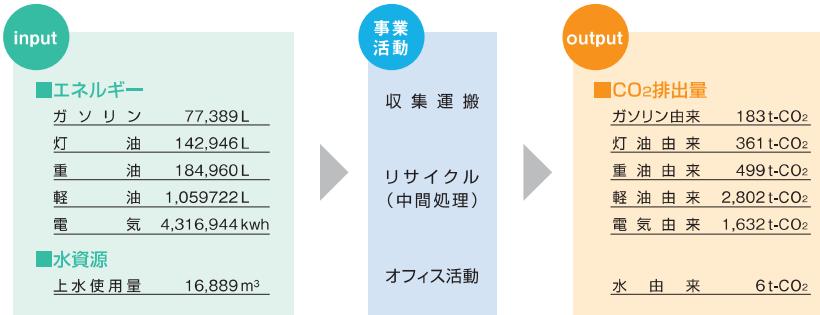
パブリック事業拠点 MAP



## マテリアルバランス

パブリック・グループの事業活動である収集運搬・中間処理およびオフィス等で使用した資源のinputと環境への排出量outputを表しています。

■電気使用量／水資源使用量:平成22年1月～12月の集計数値



昨年の電気由来CO<sub>2</sub> 1,813t-CO<sub>2</sub>に比べ、-181t-CO<sub>2</sub>の削減に成功しています!

# 産業廃棄物収集運搬量と処分量

平成22年4月1日～平成23年3月31日まで



パブリック・グループの中核といえる本部事業所を皆様にご紹介します。

# これがパブリック本部事業所だ!





## お客様とのコミュニケーション

### 愛和保育園パッカー

2010年に行われたパブリック感謝祭「おいだな祭」のぬり絵大会で見事最優秀賞に選ばれた絵をパッカー車にイラストしました。受賞した園児たちも大喜びでした。



愛和保育園 園児のみなさま

### CM放送

本年度よりユニークなCMを流しお客様に親しみを持って頂けるように取り組んでいます。



CM撮影の様子

### パブリック通信

2ヶ月に一度、社内のスタッフにより会社報を作成し、「パブリック通信」として皆様に配布しております。当社の食品リサイクルにより作られた堆肥「リ・グリーン」を使用した試験農場「パブリックファーム」の近況をはじめ、廃棄物に関する最新情報、社内でのニュース、ご挨拶など。最近では、新聞に振られた番号から、抽選により景品をプレゼントするといった企画も好評です。ぜひ、皆様も一度ご覧になってみて下さい。



平成23年5月号

平成23年7月号

### 廃棄物セミナーの開催

昨年11月に佐藤泉法律事務所 佐藤泉先生また、船井総合研究所 貴船隆宣氏をお迎えして「コンプライアンス強化」及び「環境コスト削減」を議題に弊社のお客様を招待して常にお客様に最新の廃棄物処理業界の情報を提供できるように努力しております。



佐藤泉先生



貴船隆宣氏

### 持ち込みのお客様対応

持ち込みに御来店頂いたお客様に感謝の気持ちを込め、少しでも暑さや疲れが和らげるようジュースやお菓子の景品を常に準備しております。持ち込みに来店されたお客様が帰る時には、笑顔になれるようサービス向上に取り組んでいます。



ジュースやお菓子などを用意

### 守客サービス

2011年度の断行指針に「守成創業」を掲げ、お客様を守るということで「守客」という言葉を合言葉に、お客様へのサービス向上を目指して参りました。その一貫として本年度、誕生したのが「巡回サービスカー」です。お客様のゴミ庫が汚れていればサービスカーで訪問し、清掃させていただきます。粗大ゴミの片づけの依頼があれば訪問し見積りさせていただきます。積めるものであればその場で回収させていただきます。また、水漏れ、ハチの巣駆除、エアコントラブルなどの日常生活でのお困りの際にもサービスカーで訪問し、緊急対応させていただきました。今後も、お客様がお困りのときには、即座に対応できる体制を作っていく所存ですので宜しくお願いいたします。



### 有明浜海浜清掃

当社のお客様でもあり、協賛させていただいている、香川オリーブガイナーズ様の海浜清掃活動に協力しました。

今年で3年目になるこの清掃活動、毎回多くのごみが集まります。地域密着をテーマとするガイナーズ様との協賛試合は2年連続雨天中止。次回こそは開催したいと思っています!

**スタッフボイス!**

高松事業所 一般廃棄物事業部 部門長  
**安藤 拓也さん**

県都高松でPSSMD（パブリック・スーパー・セールス・マネジメント・ドライバー）の取組をおこない、お客様のご要望、声を聞き、迅速な対応を助け合い、協力しあつて行っています。

**スタッフボイス!**

建設事業部 部長代理  
**川崎 祐栄さん**

解体される建物においても、歴史があり又、思い出のある建物ばかりです。施工様の思いを常に考えながら丁寧かつ、スピーディーに解体業務を行えるよう精進してまいります。

## 地域とのコミュニケーション

### 東日本大震災震災復興支援

3月11日に東北地方太平洋沖にて発生しました「東北関東大地震」の復興支援活動に、全国清掃事業連合会の一員として参加させて頂きました。5月1日～16日の間、車両1台と人員2名を派遣し、がれき類の撤去作業を行いました。また、社内では義援金活動を行い集まった金額を日本赤十字社を通じて被災地の復興に役立てて頂きました。



#### 災害支援活動に向かった社員のレポートより抜粋

5月1日に香川県を出発し、被災地に向かいました。秋田県より岩手県に入り、盛岡市内から北上高地を超え、だんだんと太平洋に近づくにつれ、一緒に行っていた人たちの会話も消え、言い表せない緊張感に襲われたことを今でも鮮明に思い出します。

海が見え出し、林の中を抜け出した瞬間に目にした光景は、テレビで見たそのままの風景でした。一面ガレキの山、山。地面をよく見ると住居の基礎部分があり、ここに集落があったことが分かりました。人々が普通に生活していた暮らしを地震と津波が一瞬にして奪った傷跡にその威力・怖さをさまざまと見せつけられた気がしました。

私たちは、大槌町で支援活動を行うことになりました。被災地に入り作業を行う中で、一番に感じたのは、被災地の皆様のパワーでした。私たちが作業を行ったのは、大槌町の中でも比較的の被害の少ないところで、地域の皆様と一緒に作業する機会が多くありました。当時は、支援物資等がやっと安定して供給されるようになった時期と思われる中、家の中から、飲み物などを持ってきていたいたい、「ありがとうございます。」などお礼の言葉をかけてもらうことが申し訳なく思いました。それと何よりも子供たちの姿を見ると、少しでも子供たちの力になりたいと思いました。震災から約2ヶ月目の5月16日まで被災地で作業を行っていましたが花を供えて手を合わせ子供たちや、笑顔で被災地の中を歩く子供たちを見ていると、この子達の未来のために、いち早く震災前の町の姿に戻れるように、力になりたいと強く感じました。

私たちは、支援活動ということで被災地に入りましたが、逆に地域の皆様の凄まじいパワーを感じ、元気付かれる結果となりました。 がんばれ東北、がんばれ日本!

**スタッフボイス!**

丸亀事業所 一般廃棄物事業部 部門長  
**横山 昌昭さん**

私達一席ドライバーは日頃からリサイクル・エコを意識して業務に取り組んでいます。日々お客様のご要望・選別のアドバイス等で訪問もしております。困ったことやご相談等ありましたらお気軽に声をかけて下さい。私達がお役に立ちます。

**スタッフボイス!**

丸亀事業所 オーガニック事業部  
**塙原 弘次さん**

オーガニック事業部所属の塙原弘次と申します。今年の3月に入社し早や半年が過ぎました。前職では、設備製造の仕事に携わりその経験を活かし設備のメンテナンスや修理・改善に頑張っていきたいと思っています。

### エコステーション

今夏、四国にある、某ショッピングモール敷地内の1部をお借りしてエコステーションをオープンしました。

当社エコステーションは、不要になった古新聞、古雑誌、空き缶、ペットボトルを無料回収し、リサイクルに回させていただきます。古新聞、古雑誌についてはお客様の持ってきた重さに応じてポイントが貯まり、貯まつたポイントは商品券と交換できるというシステムです。

オープン初日はキャンペーンの効果もあり、長蛇の列ができるほど大盛況でした。少しでも、「燃やす」、「埋める」ゴミを減らして再利用へ。家庭の片づけをお手伝いし、さらにポイントを還元。今後は各所に増やしていく予定です。皆様も見かけたら是非再資源化にご協力お願いします。



リサイクル回収ボックス



景品もご用意

### 地域清掃・見学会

毎年、お世話になっている地域の清掃活動に参加させて頂いています。草刈り、溝掃除、道づくり、地元の方といっしょになって汗を流しました。また、自治会の方や婦人会の方、学校などの見学会も行っております。今年も多くの方に工場にお越し頂きました。地域に開かれたパブリック・グループを目指して、笑顔で対応させて頂きます!



まんのう地区清掃 まんのう やべち

### 行事への参加

観音寺市の錢形まつりや萩まつり、その他お祭り行事への協賛や参加、また地元中学校の職場体験の受入など行っています。2011年5月に行われた観音寺商工会議所様主催の事業所対抗ソフトボール大会では、なんと優勝!!すごい!!



ソフトボール大会

**スタッフボイス!**

本部事業所 総務部  
**藤田 千令さん**

私の部署は、主に「人・金・情報」を掌っています。財務、経理、人事、労務…お金と人との情報を仕事で扱うのが専門の部署です。会社全体のことを、常に把握しておかなければならぬのが大変です。また、社内外に対して、いつも素早く対応できるように、心掛けています。裏方的な業務も多いですが、全社の支えとなるようがんばっていきたいです。

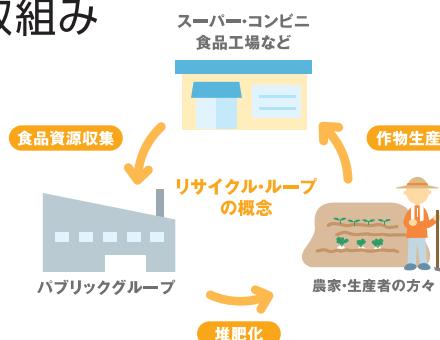
**スタッフボイス!**

本部事業所 営業部  
**浅野 隆俊さん**

営業として工場や建設現場、スーパーなど訪問しております。訪問先ごとに、出てくる廃棄物も様々で、まだまだ初めて知ることや勉強することも多く、美人営業次長(笑)の元、日々指導をうけながら業務に励んでおります。廃棄物処理のプロとしてお客様から信頼されるよう頑張っております。

## 食品リサイクルの取組み

パブリック・グループは食品循環資源リサイクルに力を入れています。その根源はリサイクル・ループの考えにあり、有機性の食品循環資源は、堆肥や飼料として、もう一度世の中で役立だって欲しいという取組です。



### 食品リサイクルに新しい工場が加わりました!

#### 三豊オーガニックステーション(三豊市高瀬町)

平成23年4月、食品汚泥(食品工場の排水処理汚泥など)や動植物性残渣(生ごみ)を主原料として発酵・熟成・肥料化する、三豊オーガニックステーションがオープンしました。最終工程でエビがらを加えることにより、ユーザーの方から高い反響のある当工場製品「食品汚泥ゆうき」(20kg入り)は、遠く関東まで出荷しています!



肥料化の様子



食品汚泥 ゆうき  
窒素…2.1%  
リン酸…3.8%  
カリ…0.5%未満



### 堆肥販売

満濃工場で出来た堆肥は、商品名「リ・グリーン」として、袋詰めされ小売店で販売されます。各事業所で店頭販売も行っております。また、バラ売りやフレコン詰め、散布など、各種サービスに対応し、農業の活性化に貢献しています。

## パブリック・オーガニックファーム

オーガニックファームでは、有機堆肥「リ・グリーン」を用いて、玉ねぎ・コマツナ・サツマイモなどを育てています。また、剪定枝くずを発酵させた有機堆肥を用いて果樹の栽培も行っています。



オーガニックファーム



マルチ張りは大変



玉ねぎの収穫



シunjigiku



なすび



ケイトウのなま

### オーガニック事業部のホームページを開設!

見やすく、そしてみなさまのお役に立てるようなウェブサイトを目指して、タイムリーな情報発信を心がけてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## チャンスコール(クレーム)とその対応

パブリック・グループに寄せられたクレーム(苦情)を、私達は成長のきっかけとなるチャンスコールと捉えて、前向きに対処させて頂いております。  
皆様のご意見、ご指導をこれからもよろしくお願い申し上げます。

■2011年8月末までにお寄せ頂いたチャンスコールの内容(抜粋)とその対応



### CSR対談後記

**CSRとは、一人一人の現場力  
ルール、マニュアル、報告書全てを超える、使命感が事態を解決する**

佐藤先生は「命かけて、勇気ある現場力を發揮せよ。」ということをおっしゃったのだと思います。  
つまり、一人一人が自分を守り、正しい判断をすることがチーム、組織、企業、国家を守り、大事な人、家族、同僚を守ることになるのです。その為には正しく、厳しく、優しく、美しく、自らを奮い起させる度量が要求されます。  
私達の行っている訓練も、「いついかなる時とも言えども、的確な判断をせしめて皇国を勝利に導かなければならぬ」と明示されています。ひとりひとりのΣが日本へと繋がっています。  
一人一人とは、決して会社の関係者(社員の皆様)だけの事でなく、パブリックグループに関わる全ての人の事です。パブリックグループの社員や家族、お客様、関連業者の皆様隣近所、地域の方々、県民、国民全宇宙の皆様、お父さんお母さんやご先祖様など、全ての人の英知ある決断の賜として今日の私達が在るのです。  
一人が全宇宙に繋がっています。一人一人が立派な人になりましょう。

平成23年11月  
株式会社パブリック 代表取締役 三野輝男

## PUBLIC WAY 2011-12 | 編集後記 |

この「PUBLIC WAY2011-12 社会正義への道」も3回目の発行となりました。急激な地球環境の変化に“静脈産業”を通じて、よりよい社会・生活を目指し、従業員一同、一丸となって取り組んでおります。

この「PUBLIC WAY2011-12 社会正義への道」はその現在の成果を示しております。まだまだ発展途中ですので至らない点も多々あると思います。是非、ご覧になったご感想、ご意見など頂ければ、皆様のご希望に添えるような対応につながり、より快適な社会・生活の実現の一歩につながると考えております。

今後とも我々PUBLICをよろしくお願い致します。

株式会社パブリック PUBLIC WAY 作成委員会

大谷一彦 藤井俊和 本条晴生 茅塙靖士  
宇野史恵 森脇英二 中田真理 川田和秀  
三好弘樹 金崎伸二 鎌倉秀行

### 本報告書の作成について

本報告書は「FSC認証紙(ミックス品)」と揮発性有機化合物(VOC)を含まない「Non-VOCインキ」を使用しました。有害廃液を出さない「水なし印刷」の技術を用いて印刷しております。  
できるだけ環境に配慮した印刷を試みており、ここではこれらの解説を致します。



#### 水なし印刷

水なし印刷は、印刷時の現像液や印刷時の湿し水を使わず、廃液の処理や湿し水の製造にかかるCO<sub>2</sub>もゼロになる環境にやさしい印刷方式。その水なし印刷による印刷物であることを認証し、製造過程で排出したCO<sub>2</sub>を埋め合わせ(オフセット)、印刷物1部あたりのオフセット量を明記しました。



#### Non-VOCインキ

大豆油インキの植物性溶剤の比率が20~40/パーセントに対し、「ノンVOCインキ」は、VOCの含有量を1パーセント以下もしくはゼロとなっています。大豆油インキ従来の溶剤に比べて、揮発性のない植物油(大豆油)の割合を増やした物です。従来のインキと比較すると、石油系溶剤を20~40/パーセント減らせます。



#### FSC認証紙(ミックス品)

FSC認証紙及びリサイクルされた木材や木材繊維からの製品グループです(第三者により検証されたポストコンシューマリサイクル原素材含有)。